

ささえりあ三和は熊本市の委託を受け、「城山・高橋・池上」校区にお住まいの方々を担当しています。

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して

認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりのため、ささえりあ三和でもさまざまな活動を行っていますが、その一環として令和4年12月1日に、城山半田公民館にて徘徊模擬訓練と認知症サポーター養成講座を実施いたしました。参加者は、城山半田百歳体操のメンバーの方々、自治会役員の方々、南警察署の方、ささえりあ三和で、約21名での実施となりました。



始めに認知症サポーター養成講座を行い、認知症に対する正しい理解と、認知症の方への接し方を学びました！



認知症サポーター養成講座の後は、徘徊模擬訓練です。「息子と認知症の母でスーパーに買い物に来たが、レジで目を離れた際にいなくなった」というシナリオのもと、学んだことを意識しながら、実際に参加者で半田地域を搜索しました。



今回、南警察署の方のご協力のもと、発見時の流れや発見時に注意することなどを教えていただきました。認知症と思われる方の声かけの仕方として①背後から声をかけない。②自尊心を傷つけない。③複数人で取り囲まない。認知症の方の特徴として①天候や気温にそぐわない服装。②寝間着の着用。③服装が上下ちぐはぐ（履物も）。④落ち着きがなく不安気などがあります。

今後も、認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりのため、さまざまな活動を地域の皆さまとともに行っていけたらと思います。